

山元町議会議長 岩 佐 哲 也 殿

産建教育常任委員会
委員長 菊 地 康 彦

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

記

1 調査事項

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| (1) 町の産業について | 10月14日・11月11日 |
| (2) 教育環境整備等について | 10月29日・11月6日 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症対策について | 10月14日・10月29日
・11月6日・11月11日 |

2 調査結果

(1) 町の産業について

- ① 農水産物直売所飲食施設整備の次の進捗状況等について調査を実施した。
 - ・テナント出店者選定
 - ・選定経過及び今後のスケジュール
- ② 農業、林業、漁業の現状と課題に係る次の項目について調査を実施した。
 - ・耕作放棄地の現状等
 - ・山林管理
 - ・ALPS処理水の対応など

意見

- ① 農水産物直売所においては、道路渋滞や駐車場不足が懸念される。駐車場全体のあり方について検討すべきである。
- ② 農業においては、高齢化、担い手不足や整備不十分な用排水路などの耕作条件が悪い中山間地域に耕作放棄地が増加している。
 - 林業においては、林道整備などの適切な管理がなされていない。
 - 漁業においては、原発事故によるALPS処理水の海洋放出による風評被害により漁業者が苦境に陥ると懸念される。これらの現状・課題に対し、町は積極的な対応を図るべきである。

(2) 教育環境整備等について

- ① 学校施設、給食、学力向上について、坂元小学校・坂元中学校での現地調査を実施した。
- ② 社会教育施設（防災拠点・坂元地域交流センター、深山山麓少年の森、中央公民館、勤労青少年ホーム）の現地調査を実施した。

意見

- ① 坂元小学校では大規模改修中であるが、全体補修が必要と考えられる。坂元中学校では体育館の照明及び雨漏り箇所の修繕を早急に進められたい。また、児童・生徒が安全安心に学習できる環境整備のため、各学校現場ですぐに対応できるように修繕に関する十分な予算措置をすべきである。

今後、全てが業務委託となる給食については児童・生徒の成長の一助となるよう引き続き考慮すべきである。

また、少人数の学級編成であるため、3密が回避でき、授業も効果的展開や運用ができています。

なお、今後も学校施設等の調査については継続する必要がある。

- ② 防災拠点・坂元地域交流センターについては、防災拠点としての役割や機能を果たす施設でもあるが、大雨、豪雨時においては施設周辺が浸水してしまい避難できない状況である。引き続き防災拠点としての役割、機能強化、人材育成及び地域のコミュニティ形成の場として安心して利用できる施設にしていくべきである。

また、他の施設においては、建築後約30年から40年経過し老朽化している。床や雨漏り箇所などの修繕をし、施設利用者の安全確保を図るべきである。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

町独自支援策を含む次の状況等について調査をした。

- ・農林水産への町独自支援策の現状
- ・商工観光関係の経済対策
- ・学校教育関係（給食費援助、ICT事業他）

意見

国及び町独自の支援策において、漏れがないよう万全な対策を図り対応された。